

講義名	英語プレゼンテーション(総合)			授業形態	
担当教員	濱田 真由美	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本コースは英語学習と自己実現を組み合わせた内容言語統合型学習(CLIL)の授業であり、2つの目的を設定している。
 1) 今後の人生について自分の夢や目標を英語で表現できる能力を身につけ、英語プレゼンテーション能力を向上させる。
 2) 夢の実現や目標達成に必要な心の持ち方や考え方を学習することにより、自己肯定感を上げ、夢を描く力を育む。

人生において成功する人とならない人、夢を実現できる人とできない人がいるのはなぜなのか？学歴や才能、経済的理由には関係なく、夢を叶えていく人には共通の考え方や夢実現の方法が存在する。本コースでは、ポズティブ心理学や脳科学に基づいたワークシートやアクティビティを通じて、潜在意識の活用法、夢や目標の実現に役立つ知識や考え方を、実践法を英語と日本語で学んでいく。

授業では、毎回英語でミニスピーチを行う。また、コースの最後には「宝地図」(Treasure Map)を作成し、自分の目標と夢について英語でプレゼンテーションを行う。

到達目標

1. 自分の夢や目標を明確にすることができるようになる。
2. 潜在意識の働きについて理解できるようになる。
3. 表現練習や発表を通じて、自信度を増やすことができる。
4. ライティングスキルを学び自分の考えや意見を平易な英語で表現できるようになる。
5. 英語プレゼンテーション能力を高め、英語での自己表現ができるようになる。

提出課題

適宜、指示します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションのフィードバックは教師からの評価に加え、及び学生同士でもフィードバックを行う。

評価の基準

1. 授業参加 20%
2. 課題提出 30%
3. Presentation 30%
4. 学期末テスト 20%

履修にあたっての注意・助言他

1. 5回休むと単位を取れなくなるので注意
2. 毎節宿題が出るので、受講する人は真摯に取り組む覚悟をしておくこと。
3. 授業に積極的に参加する姿勢を持つこと。

教科書

.使用しない(オリジナル教材を使用)。

参考文献

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

- 1 Self-Introduction, Questionnaire
- 2 思考は現実化する /short speech (1)
- 3 潜在意識と顕在意識 /short speech (2)
- 4 夢リスト /short speech (3)
- 5 選択的注意 (Selective attention) / short speech (4)
- 6 言葉の力 (Power of Words) / short speech (5)
- 7 イメージの力 (Visualization) / short speech (6)
- 8 中間プレゼンテーション
- 9 感謝の力 (Gratitude) /short speech (7)
- 10 アファirmेशन(Affirmation) / short speech (8)
- 11 宝地図作成 (Treasure Map)
- 12 宝地図Presentation (1)
- 13 宝地図Presentation (2)
- 14 プライミング効果 (Priming Effect) /short speech (9)
- 15 Review

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

ミニスピーチ課題の準備: 約60分
 英語の名言を調べる課題: 約30分
 リーディング、リスニングなどの課題: 約90分
 復習プリント: 約60分

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは英語でのプレゼンテーションを通じ、読解力、ライティング能力、スピーキング能力、及びコミュニケーション能力の向上を図る。また、世界の世界的リーダーによる英語スピーチに触れることにより、海外の政治、経済、文化についての理解を深め、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は同学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

個人的な指導もするため、人数制限を設けています。履修希望者は事前登録をしてください。真剣に学びたい人に受講を勧めます。